

## 平成 27 年度 四日市港管理組合当初予算の概要

### 1 当初予算編成の考え方

平成 27 年度当初予算は、「四日市港戦略計画(2015～2018)」(仮称)のスタートの年度であることや、組織団体(三重県・四日市市)を取り巻く厳しい財政状況を踏まえ、事業の選択と集中を図り、掲げた目標の達成に向けて、着実に取り組んでいけるよう編成しました。

### 2 予算の規模

(単位：千円、%)

区 分	26年度当初予算	27年度当初予算	増 減 額	伸び率
一 般 会 計 ( 県 市 負 担 金 )	6,101,982 (3,423,547)	<b>6,666,581</b> <b>(3,221,373)</b>	564,599 (△202,174)	9.3 (△5.9)
港湾整備事業特別会計	3,441,189	<b>4,028,818</b>	587,629	17.1
合 計	9,543,171	<b>10,695,399</b>	1,152,228	12.1

#### (1) 一般会計

一般会計の予算総額は 66 億 6,658 万 1 千円で、平成 26 年度当初予算額と比較しますと、5 億 6,459 万 9 千円の増加となっています。歳入にあつては、港湾改修事業負担金等の減により国庫支出金が 9,075 万円減少する一方、直轄事業負担金の増により組合債が 8 億 4,900 万円増加しています。

また、歳出にあつては、港湾施設及び海岸保全施設等の管理・維持費の増などにより港湾管理費が 4,401 万円、直轄事業負担金の増や清掃船建造費の増により港湾建設費が 7 億 2,605 万 1 千円、それぞれ増加する一方、公債費が 1 億 9,891 万 4 千円減少しています。

#### (2) 港湾整備事業特別会計

特別会計の予算総額は 40 億 2,881 万 8 千円で、平成 26 年度当初予算額と比較しますと、5 億 8,762 万 9 千円の増加となっています。歳入にあつては、霞ヶ浦地区北ふ頭における新物流センター用地の貸付開始と四日市港埠頭株式会社へのコンテナターミナル貸付開始等により、財産収入が 1 億 6,710 万 6 千円増加するとともに、霞ヶ浦地区北ふ頭荷役機械建設工事等により、組合債が 6 億 8,300 万円増加しています。また、歳出にあつては、荷役機械や荷捌き施設等に係る港湾施設改修費の増により建設事業費が 6 億 6,613 万 5 千円増加する一方、公債費が 1 億 2,409 万円減少しています。

### 3 主な取組

四日市港管理組合は、「四日市港戦略計画(2015～2018)」(仮称)に基づき、ご利用いただく皆さんに、さらに満足していただけるような港をめざして、3つの視点に立った取組を中心に進めてまいります。

※「四日市港戦略計画(2015～2018)」(仮称)を参照

物流を支える港づくり

参考：政策1（施策101、102）

より多くの荷主企業や船会社から選ばれる港となるため、荷主企業と船会社に対して、四日市港の更なる利用の拡大に向けた取組を進めていきます。

四日市港利用促進協議会を核とした官民連携によるポートセールス体制を強化していくとともに、四日市港グリーン物流促進補助金等を活用し、新規貨物を獲得していきます。また、四日市港の利用拡大に向けた新たな支援制度の創設を行います。

さらに、荷主企業や船会社からの物流コストの低減や利便性の向上といった要請に応じていくため、霞ヶ浦地区北ふ頭80号岸壁におけるコンテナクレーンの増設や霞4号幹線などの施設整備に取り組むとともに、岸壁、上屋等の港湾施設の適切な維持管理も行っていきます。

#### <主な事業>

##### (特別会計)

- ・ **四日市港利用拡大支援補助金(新規)** 30,000千円  
〔 四日市港で揚げ積みするコンテナ貨物を、一定量以上増加させた荷主企業を支援する。 〕
  
- ・ **コンテナ定期航路サービス維持・拡充事業補助金(新規)** 20,000千円  
〔 コンテナ貨物を、四日市港で積み替えて輸出入する(ハブ港として活用する)船会社を支援する。 〕
  
- ・ **四日市港グリーン物流促進補助金** 20,000千円  
〔 四日市港を利用することによって環境負荷の低減を図ろうとする荷主企業を支援する。 〕
  
- ・ **基幹航路等コンテナ船寄港誘致事業補助金** 20,000千円  
〔 新たに四日市港に寄港する基幹航路等のコンテナ航路を開設する船会社を支援する。 〕

- ・ 霞ヶ浦地区北ふ頭荷役機械(コンテナクレーン)建設 500,000 千円  
 ( 増加するコンテナ貨物及び、コンテナ船の大型化に対応するため、現在コンテナクレーン2基体制の霞ヶ浦地区北ふ頭にコンテナクレーンを1基増設する。(平成26年度から平成28年度の債務負担) )
- ・ 霞ヶ浦地区南ふ頭荷役機械(コンテナクレーン)改修 280,672 千円  
 ( 霞ヶ浦地区26・27号岸壁のコンテナクレーン2基が、耐用年数(17年)を経過するため、電気設備の更新や巻上・横行・起伏電動機の改良更新等を行う。 )
- ・ 鉄鋼上屋耐震補強及び改修 149,424 千円  
 ( 鉄鋼上屋の耐震性確保及び長寿命化のための整備を行う。 )
- ・ 霞ヶ浦地区北ふ頭土地造成事業 400,000 千円  
 ( 霞ヶ浦地区北ふ頭の港湾関連用地に、新たな物流センターを整備するための土地造成事業であり、平成27年度は雨水排水施設の整備を行う。 )

(一般会計)

- ・ ポートセールス事業 6,836 千円  
 ( 国内外でのポートセールスを精力的に展開していくための旅費や、四日市港利用促進協議会参画のための経費。 )
- ・ 霞4号幹線整備事業 1,800,000 千円  
 ( 国が行う霞4号幹線整備事業に対する負担金。  
平成27年度は、19基の橋梁下部工と20径間の橋梁上部工を行う。 )
- ・ 国補港湾改修事業(霞ヶ浦地区27号岸壁(-12m)改良) 112,500 千円  
 ( 供用から40年以上が経過し、老朽化が進んでいる霞ヶ浦地区27号岸壁の上部コンクリート補修等の老朽化対策を行う。 )
- ・ 単独港湾施設維持補修 271,357 千円  
 ( 四日市港の有する老朽化した港湾施設の点検業務や維持のための各種調査や小規模修繕あるいは、除草や清掃業務を行う。  
平成27年度は臨港橋の定期点検や臨港道路の空洞化調査、臨港道路や臨港橋の路面補修等を行う。 )

四日市港が、災害発生時には背後地の住民・企業や港の利用者の生命・財産を守り、被災後には速やかに背後地の復旧・復興を支えることができる港となることを目指し、取組を進めていきます。

津波・高潮等の災害から背後地の住民や企業を守るため、富田港地区海岸の耐震補強整備等を引き続き進めます。

また、高潮による浸水被害を防止するために、豊栄樋門排水機場 No. 6 ポンプの補修工事を行います。さらに、良好な水域環境を維持するため、老朽化した清掃船の代替船の建造を進める等、適切な清港活動を実施します。

### <主な事業>

#### （一般会計）

- ・ 富田港地区の護岸補強工事 307,500 千円

〔 富田港地区における高潮等による海水の侵入を防止するため、護岸補強を行うと共に耐震機能の向上を図る。完成予定は平成 30 年度であり、平成 27 年度は地盤改良工や鋼矢板圧入工及び仮設鋼矢板工を行う。 〕
- ・ 海岸保全施設長寿命化計画策定 37,500 千円

〔 海岸保全施設内設備として維持管理を行っている排水機場、水門設備、樋門設備及び防潮扉の設備健全度判断基準を策定し、それによって健全度を調査するとともに、耐震調査を行って設備の長寿命化によるライフサイクルコストの低減等に資する。 〕
- ・ 豊栄樋門排水機場 No. 6 ポンプ補修工事 68,002 千円

〔 豊栄樋門排水機場の約 4 割の排水量を担う No. 6 ポンプの老朽化に対応するための設備更新を行う。（平成 26 年度から平成 27 年度の債務負担） 〕
- ・ 清掃船建造費（新規） 139,716 千円

〔 現在運航中の清掃船「かすみ」が、建造後 22 年が経過しており、老朽化が激しく、作業効率が低下していることから、更新を行う。  
基本仕様：全長 14.6m、全幅 6.5m、総トン数 15t  
（現行 全長 12.4m、全幅 6.4m、総トン数 14t） 〕

四日市港が、人々が憩い、楽しめる港となることを目指して、豊かな自然環境や港とふれあう機会の提供を進めていきます。

環境に関しては、港内の水環境の保全、藻場の再生に向けた取組など、関係者と連携しながら生物多様性や自然環境の保全の取組を進めます。

また、多様な主体の参画を進めながら、「四日市みなと講座」、「四日市港まつり」や「秋のみなとフェスタ」などを開催し、港とふれあう機会を提供します。

さらに、緑地・公園・魚釣り施設等の施設を適切に維持管理していくことに加えて、千歳運河周辺の景観やレクリエーション機能に配慮しながら、末広橋梁付近の4号物揚場の緑地整備を進め、四日市港を訪れる人々が、憩い、安らぐことができる空間の提供に引き続き努めていきます。

#### <主な事業>

##### （一般会計）

- ・環境調査推進費 8,231 千円

〔 四日市港管理組合の事務事業及び港湾活動から発生する温室効果ガスの削減を推進するため、温室効果ガス削減協議会における講演の実施、四日市港の水質調査等を行う。  
また、藻場再生事業として、「アマモ」の育成ノウハウ蓄積のための実証実験を行う。 〕
- ・イベント・交流事業費 1,364 千円

〔 多様な主体との連携による「四日市みなと講座」、「四日市港まつり」「秋のみなとフェスタ」の開催経費 〕
- ・千歳運河沿い緑地整備 180,000 千円

〔 港における親しまれる空間を拡大するため、四日市地区の千歳運河沿いの物揚場を景観等に配慮した緑地への整備に先立ち、下部施設となる護岸工事を行う。 〕
- ・単独緑地維持補修 49,692 千円

〔 四日市港内に整備された緑地空間を、広く県民・市民に活用してもらえよう、適切な管理を行うとともに計画的な維持修繕を行っていく。 〕